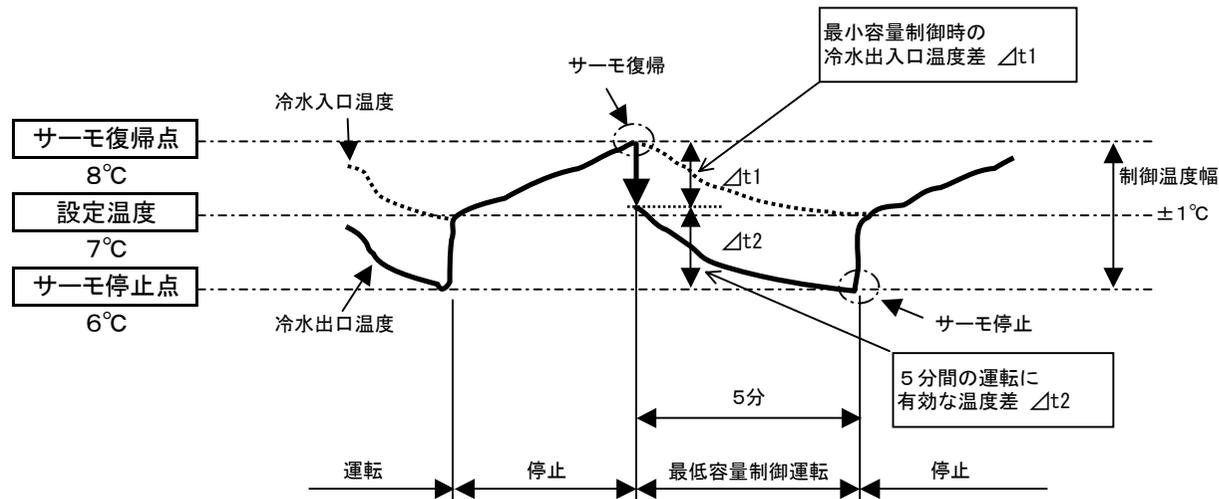


最低保有水量 MCR-KE シリーズ

「(冷却負荷) ≥ (ユニットの最小アンロード時の冷却能力)」の場合は、ユニットは停止することはありませんが、
 「(冷却負荷) ≤ (ユニットの最小アンロード時の冷却能力)」となる場合には、ユニットは発停を行います。
 発停が頻繁な場合には、圧縮機の寿命を損なう恐れがありますので、安定した運転を継続する為の保有水量の確保が必要です。
 「(冷却負荷) < (ユニットの最小アンロード時の冷却能力)」となる恐れがある場合には、以下の計算により得られる最低保有水量を確保して下さい。
 これは負荷がない時に、冷凍機ユニットを5分間運転するのに必要な保有水量です。確保されていない場合には冷水タンクの設置を検討下さい。
 (5分間とは、圧縮機が運転開始し、冷媒系統が安定するまでの概略時間です。)



【MCR-KEシリーズ最低保有水量表】

<50Hz>

単位: m³

機種	MCR-SP40KE	MCR-SP50KE	MCR-SP60KE	MCR-SP80KE	MCR-SP100KE	MCR-SP120KE	MCR-SP150KE
最低保有水量	0.56	0.75	0.86	1.11	1.44	1.82	2.15

※冷水出口温度: 7°C, 冷却水出口温度: 35°C, 最小冷却負荷=0の場合

<60Hz>

単位: m³

機種	MCR-SP40KE	MCR-SP50KE	MCR-SP60KE	MCR-SP80KE	MCR-SP100KE	MCR-SP120KE	MCR-SP150KE
最低保有水量	0.66	0.88	1.03	1.29	1.69	2.15	2.58

※冷水出口温度: 7°C, 冷却水出口温度: 35°C, 最小冷却負荷=0の場合